

日本発ドイツ便り : Geiz ist geil

“Geiz ist geil!” いやぁ初めてこのコマーシャルを見たときはある意味衝撃を受けました。

Geiz ist geil (ガイツ・イスト・ガイル:「ケチはカッコいい!」) 2002年からドイツのSaturn (ザターン) という家電量販店のコマーシャルで使われ続けているスローガンです。

Geiz (ガイツ) は日本語で「ケチ」の意味。というとあんまり良いイメージではないですが、ドイツ語だと完全にネガティブというわけではなく、geizig (ガイツイッヒ: Geizの形容詞で「ケチな」の意味) と人から言われたくはないけれど、心の中ではgeizigな自分は「節約上手」な感じで誇らしい、みたいなちょっと複雑な感情みたいです。

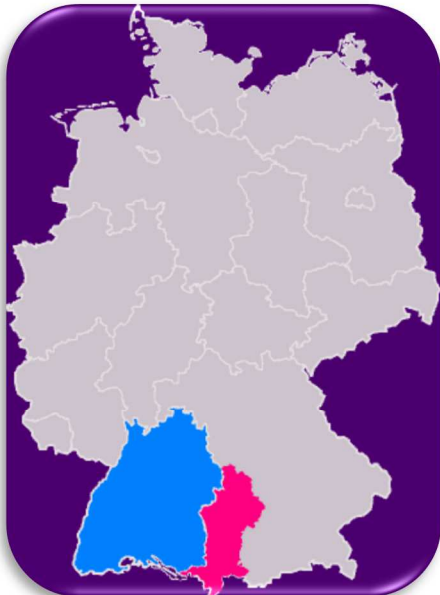
だから10年ほど前に“Geiz ist geil!”とテレビで大々的に宣言されたときは「そうだ!よく言った!」と同意するドイツ人も多かったと思います。(このスローガンが使われ続けているのも同じ理由だと思います。)

ドイツ人ってディスカウンター大好きです。節約も大好きです。

日本より税金が高いせいもあるかと思いますが(給与の約半分が所得税やら社会保障関連の税金、キリスト教の人は「教会税」として差し引かれます。まあ、そのかわり医療費は基本無料ですけどね。

ちなみにMehrwertsteuer (メアヴェルトシュトイアー:消費税)率は2種類で7%と19%です。)、自分の税金がどう使われているのかすごく興味を持っている人が多いし、Steuer (シュトイアー:税金)のことはいつだって話題に上りますし、税制が改定になると税金関連書籍がベストセラーになるし、ちょっと税金が上がるとなるとすぐ「ジャガイモでも育てるか」みたいな話になるのもドイツらしいです。

ドイツ人が数人集まるとちょっとしたGeiz自慢大会になったりします。



やっぱりお国柄というか地域による違いもあるようなのですが、どこが一番geizigな地域か?という問いの答えは満場一致、異論なしで決まっています。

Schwaben (シュヴァーベン)。バイエルン州の一部(ピンクの部分)とお隣の地図のブルーの部分、Baden-Württemberg全体(バーデン=ヴュルテンベルク州。州都はStuttgart:シュトゥットガルト。ドイツを代表する自動車メーカー、Mercedes-BenzやPorscheの本社のある町です。)にまたがる地域の名称です。

Schwaben地方って、言葉の訛りも独特というか訛りがかなり強くてSchwäbisch (シュヴェービッシュ:シュヴァーベン語)と呼ばれます。Schwäbischの辞書だって売ってあるし、番組によってはSchwäbischのテレビ番組だってあります。(他の方言の辞書やテレビ番組もちろんありますよ。)

「田舎者」「ケチ(ポジティブに言い方を換えれば儉約家)」というあんまり有難くない称号を全会一致で2つも受けているのがこの地域です。

「田舎者」についてはどうか知りませんが「ケチ」については、そう言われるのを実は誇りにしている、というか開き直ってネタにしている節もあります。

言葉についても結構開き直っていて、なんと
Baden-Württemberg 州では 1999 年から“Wir können alles
außer Hochdeutsch”を州のモットーにしているとのこと。
訳せば「私たちは『標準ドイツ語』以外は何でもできる」
このモットー、妙に気に入ってしまいました。☺
このモットー、他にもいろいろパロディー版があるようです。

Wir können alles.
Außer Hochdeutsch.



ちょっと脱線しましたが Geiz ネタに戻ると…。

ある時、ホームステイ先に夫妻の Schwaben に住むお友達が遊びに来たことがあって、話す機会があり、こんなジョークを聞きました。

「Schwaben では Tanga (日本では T-バックとかその他色々な名前で呼ばれる、要は布地部分の面積が狭い女性用の下着)は販売されていないし、売ってあっても誰も買わない。理由は、布地の面積あたりの値段が高いし、履き古した後の使い道が何もないから。(普通の下着なら、まだ雑巾にして掃除に使うなど再利用の方法がいくらでもある!)」だそうです。☺そんな発想、私にはなかったですね。さすが。

ちょっと古典的なジョークですが、各地域の違いが分かるのでご紹介します。

プロイセン人(ベルリンあたりの人)とバイエルン人(ミュンヘンあたりの人)とシュヴァーベン人の3人がレストランでビールを頼んだら、グラスにハエが一匹入っていた。

- ・ プロイセン人：ウェイターを呼びつけて、取り替えてもらう。
- ・ バイエルン人：アルコールなんだから細菌の心配はない(アルコール消毒!)。と言って、ハエをどけてビールを飲む。
- ・ シュヴァーベン人：まずはハエをどけて、そのハエが飲んだビールを吐かせてから飲む。

まああくまでもジョークなので、本当にそんなことするかどうかは分かりませんが、同じ「ドイツ人」でも違うんです。☺

他にも、Dumm(ドウム：バカ)といえはこの地域とか、まあ色々地域ネタはありますが(私たちが「大阪の人は…」とか「ナゴヤの人は…」なんてネタにするのと同じですかね。)、話がそれるのでまたの機会に。